



ぶらり社南 ～新江守中編～

『アナログからデジタルへ』

コロナ禍の中、情報発信・連絡事項の伝達にはグループラインを活用。必要な情報の発信と役員の「報・連・相」を可能にしたことにより、災害に強い、安心して住める自治会の実現を目指している。

①新江守中西公園

隔月で清掃活動を行い、常に綺麗な公園として環境整備を行っている。
快晴で暖かな日には保育園児・子どもたちの良い遊び場になっている。



③新江守中町集会所

1986(S61)年に完成。役員会、ブロック会など会議や懇親会に利用。
会議の際は、大きなモニターに資料を写し出しペーパーレス会議を行っている。水害時には避難所としても活躍。
36年経過し、建物の老朽化が目立ってきたため、現在は補修工事中。



④鉄塔

50年以上前(自治会発足時)からこの場所にある。



②新江守中央公園

自治会の中央に位置し公園として整備されたのは15年ほど前。
昔はゲートボール、町内運動会、子ども会のキャンプファイヤーに利用されていたが、現在では夏祭りや防災訓練、10年ほど前から「どんど焼き」を復活させて行っている。また、水害時には近隣住民の車の避難場所としても活用。40周年記念事業、50周年記念事業を盛大に開催。



⑦変わった用水路

昔からあった水路を利用して作った農業用水路なのか、新たに圃場整備で作られた農業用水路なのか、謎です。



⑥江守中1号・2号・3号公園 40年ほど前に作られた小さな公園



⑤用水路

昔のままの石垣を積み上げた部分が残っている用水路。

